

美しい熊本づくり・シンボルゾーン計画

道路を花で飾りましょう
県では美しい住みよい郷土をつくるために、美しい熊本づくり運動を行なっています。手始めとして、ご承知のように昨年の暮れに市民会館から水道町交差点まで花壇を作り、葉ぼたんを植えました。今年、次のように道路花壇の計画をしておりますので、皆さんのご協力を心からお願いたします。

四季の花壇

【春の花壇】
○今植えている葉ぼたんは、春の花植えのために、三月一日から五日までの間に取り除きます。ひきつづき春の準備をします。
○三月十日から、デイジー（ひな菊）、パンジー（三色すみれ）の苗の植えこみを始める予定です。
○これと同時に、常緑となるダイコンドラ（芝ようのもの）の種子も播きます。

【夏の花壇】

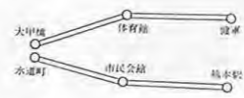
○デイジー、パンジーの春の花壇の取り除きをする前に、その間にサルビア、松葉ぼたん、チニアリネリス、花ペゴニア、アゲラタムを六月中旬に植える予定です。

【秋・冬の花壇】

○葉ぼたんを十一月中旬に植える予定です。

年次計画

Table with 2 columns: Year, Location. 47年度実施: 市民会館—水道町; 48年度予定: 大甲橋—体育館; 49年度予定: 体育館—健軍; 50年度予定: 市民会館—熊本駅



おねがい

花壇の生命は灌水にあります。私達の手が十分とどかない面もあるかと思ひます。お気づきの時は、皆さんのご協力をお願いいたします。もし灌水していただくときは、日中の灌水はやらないように、できるだけ日没前をお願いします。見ぐるしいかぶがあったり、お気づきのことがありましたら、熊本土木事務所維持課（六八—四一八—四）までご一報下さい。●県民皆さんの花です。お互いにかわいがり、踏み荒したり、傷つけたりしないよう、皆さんで見守って育ててください。



住みよい生活環境めざして

県民の方々が健康で文化的な生活を営むにたる住宅を供給することが、住宅対策の基本的な施策ですが、県では地域の住宅事情の実態に応じ、他の広範な社会福祉の施策分野と緊密な協調を得た長期計画に基づいて事業を実施しています。また、通勤、通学、医療、ショッピングなど生活に関連する歩道、自転車道、都市河川、下水道、ごみ処理などの生活環境施設の整備や、県民の健康と体力づくりを旨とするスポーツ施設の整備促進を図ります。

★ 公営住宅建設……

十七億四千二百九十九万円

第二期住宅建設五ヶ年計画の第三年度として、建設戸数の増加と、住宅の質の向上を図るため、住宅の規模を三平方メートル増加し次の二団地に建設します。

四十七年度から千二百戸の建設にかかっている大規模団地武蔵ヶ丘に、七億五千五百七十万円を二百五十四戸を建設します。さらに木造の公営住宅四十二戸が建っていた健軍B団地に二億五千五百五十万円を、百十二戸の中層耐火構造の共同住宅を建設し、土地の高度利用・職住近接の住環境の整備を図ります。うち十二戸は重度身障者のための住宅です。

このほか、武蔵ヶ丘団地の用地先行取得費約五億九千万円を計上しています。

★ 改良住宅建設……九千二百二万円

白川の河川改修工事実施に当たって、沿岸に散在する不良住宅を除却し、住環境の整備を図るとともに、かたや白川河

前に述べた「自然の保護」、「郷土の清掃浄化」、「郷土の緑」を三本柱として、四十七年度から始めた美しい熊本づくり運動は、公害対策、公共事業、公園整備、都市再開発等の他の関連施策等も含めて、市町村や県民各位のご協力のもとに推進しております。四十八年度も強力に推進することとしております。

★ 美しい熊本づくり総合推進……三千四百六十六万円

① 広報事業—県民運動としての広がりを求めてポスター、パンフレットなどにより広報活動を強化するため九百八十二万円。

② 美しい熊本づくり推進大会など—自然保護や美化運動に関する講演や、実績発表、功労者表彰など、また、この運動の進め方に民間の意見と創意を反映してもらうため各界の代表四十八人で組織されている推進会議などに三百五十九万円。

③ 市町村美化推進事業補助—市町村が行なう道路沿線、公園等の緑化事業、花だん、フラワーポイント設置事業などへの補助に千二百万円。

④ 海岸清掃補助—海岸線に打ち上げられるビニールや空カンなどの清掃補助として百五十七万円。

⑤ 美化運動推進費補助—二百九十七万円。

⑥ 郷土読本の発行—郷土のすぐれた自然や文化などを児童生徒向きに編集し

発行します。
★ シンボル道路美化事業……二千一百一十万円

美しい熊本づくりの一環として四十七年度は、シンボル道路（熊本高森線、熊本玉名線、熊本駅、健軍間十二キロメートル、空港線（小山熊本線）十四キロメートル）について、それぞれ現在設置してある歩道を利用して、並木、花壇を設置して整然とした並木通りとするため、市民会館—大甲橋—二キロメートルについて八百三十万円の予算で整備しましたが、本年度は、大甲橋—体育館三・八キロメートルを二千万円の予算によって整備する予定です。

★ 一般国道美化対策事業……千九百九十八万円

① 大津バイパスはバイパス区間、四・五キロメートルに花木を植えて込んで修景をはかり、② 熊本停車場線は、延長二・四キロメートルの区間にシンボル道路に準じた花壇を設置して、市街地の美化をはかり、③ 別府一の宮線は、四十七年度に引き続きコンクリート法面吹付部にツタを植付けて、緑化をはかり、④ その他一般国道の沿線美化については、並木花木の植付けを行ないます。

★ 道路公園事業……百二十万円

道路沿いの廃道敷を利用して、駐車場をそなえた小規模の公園をつくります。

★ 街路樹整備事業……三百五十万円

川改修工事の促進を図るため、県と熊本市共同で上川鶴岡地に百六十戸（うち市八十戸）を建設していますが、本年度最終の仕上げとして、九千二百二万円。

★ 災害公営住宅建設補助……二千九百九十四万円

竜ヶ岳町七十四戸、姫戸町四十戸、倉岳町十五戸、合計百二十九戸の建設費に補助します。

★ 中小企業従業員住宅建設……一億六百万円

県が厚生年金積立金の環元融資を受けて、中小企業従業員の住宅を建設し、これを中小企業主に分譲するもので、四十八年度も五十戸分一億六百万円を計上しました。

★ 生活関連道路……八億四百八十四万円

新市街水前寺線は十四路線に七億二千四百万円、山鹿市の再開発道路に二千七百三十万円、牛深市の区画整理道路に四千二百万円、歩行者専用道路（一の井手）に二百万円、側溝整備に二百五十万円、その他七百四十万円を計上し、街路等の整備を図ります。

★ 総合運動公園……四億六千五百三十万円

四十七年度に着手したこの事業は、五十年にその一部が利用できるように、完成を五十二年において四十八年度は用地の造成と野球場や排水路等の設置事業に着手します。将来は各種運動施設や芝生広場、サイクリング道路などを配置し、広く県民が気軽に利用できる野外レクリエーションの場となります。